いながわぎょぎょうきょうどうくみあい猪名川漁業協同組合

代表者氏名	鈴木 啓祐	設立年月	昭和 25 年(1950年)	
連絡窓口	担当者:鈴木 啓祐			
	住 所:川西市新田3丁目12-8			
	T E L: 080-6175-9311 FAX: 072-792-0037			
	E-mail: kei-suzuki@hi3.enjoy.ne.jp			
ウェブサイト				
URL				

団体(活動) の目的	1. 水産資源の管理及び水産動植物の増殖 2. 水産に関する経営及び技術の向上に関すること 3. 組合員の事業又は生活に必要な物資の供給 4. 組合員の事業又は生活に必要な共同利用施設の設置 5. 組合員の漁獲物その他の生産物の運搬、加工、保管または販売 6. 漁場の利用に関する事業 7. 組合員の福利厚生に関する事業 8. 組合事業に関する組合員の知識の向上を図るための教育及び組合員に対する一般的情報の提供
	6. 漁場の利用に関する事業 7. 組合員の福利厚生に関する事業 8. 組合事業に関する組合員の知識の向上 を図るための教育及び組合員に対する一般



(次頁に続く)

1.アユ、アマゴ、ウナギ、マス、フナ、コイ、ワカサギ、モクズガニ、スッポン等の増殖

2.漁業免許で許可された遊漁料の徴収

(1)6月中旬~9月30日の間:アユの友釣り解禁

(2)12月上旬~5月連休最終日:アマゴ・マス釣り解禁

- 3. 「美しい猪名川を」 「熱い猪名川で」を合言葉に以下の事業を実施
 - (1) マス釣り&猪名川浄化運動大会(5月のゴールデンウィーク中)
 - (2) マス釣り&クリーン作戦(2月第3週の土曜日)
 - (3) 適時ダム湖内、河川、河原のゴミ回収、草刈、
 - (4) カワウの追い払いや外来魚の捕獲駆除を行い、被害防止対策を行う。
 - (5) 外来魚釣り&クリーン大会を行い、普段バス釣りをしている方々にも、バス、ブルーギルの在来魚への食害について知ってもらうと共に釣り場のゴミ回収をしてもらうイベントを実施している。(10月)

活動内容

- (6) 魚のつかみ取りをして、つかまえた魚を食べ、魚を手で触った感触、漁村の食文化の伝承をする。
- (7) 川やダム湖での安全な利用の指導。特にダム湖でボートを利用する場合は必ず 救命胴衣を着用するよう指導いている。
- (8) 陸封系天然アユが一庫ダムで再生産されており、一庫大路次川、田尻川の産卵 場を産卵に適した場所とするため、平成 17 年から一庫ダム管理所と猪名川漁 業協同組合が行っていたのを地域の財産として守りため、平成28 年度から一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会の事業として協議会のメンバーだけでなく、一般の方々にも呼びかけ整備を行っている。30 年度は一般参加者には全員 に一庫大路次川で捕獲した陸封アユと養殖アユの塩焼きを試食し、食べ比べてもらった。
- (9) 5万人以上の人が集まるフィッシングショウOSAKAに一庫ダム管理所と猪名川水系漁業協同組合連合会が共同で出展し、一庫ダムや漁業協同組合の行っていることや、猪名川に生息する魚類等の展示をして、猪名川水系の広報活動をしている。

次年度の 活動予定

前年度と同じ

活動分野 | 貴重動植物の保護 外来種駆除 自然環境調査 生物観察会

水質保全 河川管理 森林管理 イベントの開催 交流 水辺まつりへの参加

自然体験学習 レクリエーション 漁業 歴史文化の紹介・体験 里山文化体験

避難訓練 防災教育 クリーン作戦への参加 ゴミ拾い 美化活動 河川敷利用

福祉活動 スポーツ活動 文化活動(写真・絵画収集など) その他()

PR・メッセージ

令和元年度に別添チラシを一庫ダム管理所と協同で配布しました。